

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【公表番号】特表2014-506114(P2014-506114A)

【公表日】平成26年3月13日(2014.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-013

【出願番号】特願2013-525055(P2013-525055)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	7/06	(2006.01)
C 1 2 N	5/0783	(2010.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 0 7 K	16/30	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/531	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	7/06	
C 1 2 N	5/00	2 0 2 L
C 1 2 N	5/00	1 0 2
C 0 7 K	16/30	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 K	48/00	
G 0 1 N	33/531	A

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月18日(2014.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の(a)または(b)の15アミノ酸未満の単離されたペプチド：

(a)配列番号：1、5、31および32からなる群より選択されるアミノ酸配列を含む单離されたペプチド；

(b)細胞傷害性Tリンパ球(CTL)誘導能を保持する改変ペプチドを生じるように、配列番号：1、5、31および32からなる群より選択されるアミノ酸配列に1個、2個、または数個のアミノ酸が置換、欠失、挿入または付加されているアミノ酸配列を含む、单離されたペプチド。

【請求項2】

ノナペプチドまたはデカペプチドである、請求項1記載の単離されたペプチド。

【請求項3】

(a) N末端から2番目のアミノ酸が、ロイシンおよびメチオニンからなる群より選択されるアミノ酸である、または前記アミノ酸に改変されている；ならびに

(b) C末端のアミノ酸が、バリンおよびロイシンからなる群より選択されるアミノ酸である、または前記アミノ酸に改変されている、

からなる群より選択される少なくとも1つの置換を有する、請求項1または2記載のペプチド。

【請求項4】

配列番号：1、5、31および32からなる群より選択されるアミノ酸配列からなる請求項1記載の単離されたペプチド。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをコードする単離されたポリヌクレオチド。

【請求項6】

請求項1～4のいずれか一項記載の1種もしくは複数種のペプチド、または請求項5記載の1種もしくは複数種のポリヌクレオチドを含む、CTLを誘導するための組成物。

【請求項7】

(a) 請求項1～4のいずれか一項記載の1種もしくは複数種のペプチド；

(b) 請求項5記載の1種もしくは複数種のポリヌクレオチド；

(c) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとHLA抗原との複合体を自身の表面に提示する1種もしくは複数種のAPCもしくはエキソソーム；または

(d) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとHLA抗原との複合体を自身の表面に提示する細胞を認識する1種もしくは複数種のCTL、

を薬学的に許容される担体と組み合わせて含む、

(i) 既存のがんの治療、

(ii) がんの予防、

(iii) がんの術後再発の予防、および

(iv) それらの組み合わせ、

からなる群より選択される目的のために製剤化された、薬学的組成物。

【請求項8】

HLA抗原がHLA-A2である対象への投与のために製剤化された、請求項7記載の薬学的組成物。

【請求項9】

CTL誘導能を有する抗原提示細胞(APC)を誘導するためのインビトロまたはエクスピボの方法であって、

(a) インビトロまたはエクスピボで、APCを請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドと接触させる段階、および：

(b) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをコードするポリヌクレオチドをAPCに導入する段階、

からなる群より選択される段階を含む、方法。

【請求項10】

CTLを誘導するためのインビトロの方法であって、

(a) HLA抗原と請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとの複合体を自身の表面上に提示するAPCと、CD8陽性T細胞を共培養する段階；

(b) HLA抗原と請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとの複合体を自身の表面上に提示するエキソソームと、CD8陽性T細胞を共培養する段階；および

(c) T細胞受容体(TCR)サブユニットポリペプチドによって形成されるTCRがHLA抗原と請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとの複合体に細胞表面で結合することができる、該TCRサブユニットポリペプチドをコードする1つ又は複数のポリヌ

クレオチドをT細胞に導入する段階、
からなる群より選択される段階を含む、方法。

【請求項11】

H L A抗原と請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとの複合体を自身の表面上に提示する、単離されたA P C。

【請求項12】

(a) インビトロまたはエクスビボで、A P Cを請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドと接触させる段階、および

(b) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをコードするポリヌクレオチドをA P Cに導入する段階、

からなる群より選択される段階を含むC T L誘導能を有する抗原提示細胞(A P C)を誘導するためのインビトロまたはエクスビボの方法によって誘導される、請求項11記載のA P C。

【請求項13】

請求項1～4記載のペプチドのいずれかを標的とする、単離されたC T L。

【請求項14】

(a) H L A抗原と請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとの複合体を自身の表面上に提示するA P Cと、C D 8陽性T細胞を共培養する段階；

(b) H L A抗原と請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとの複合体を自身の表面上に提示するエキソソームと、C D 8陽性T細胞を共培養する段階；および

(c) T細胞受容体(T C R)サブユニットポリペプチドによって形成されるT C RがH L A抗原と請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとの複合体に細胞表面で結合することができる、該T C Rサブユニットポリペプチドをコードする1つもしくは複数のポリヌクレオチドをT細胞に導入する段階、

からなる群より選択される段階を含むC T Lを誘導するための方法によって誘導される、請求項13記載のC T L。

【請求項15】

対象においてがんに対する免疫応答を誘導するための組成物であって、請求項1～4のいずれか一項記載のペプチド、その免疫学的活性断片、または該ペプチドもしくは該断片をコードするポリヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項16】

請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをコードするヌクレオチド配列を含むベクター。

【請求項17】

請求項16記載の発現ベクターで形質転換またはトランスフェクトした宿主細胞。

【請求項18】

請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとH L A抗原とを含む複合体を提示する、エキソソーム。

【請求項19】

請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドに対する抗体、またはその免疫学的活性断片。

【請求項20】

請求項1～4のいずれか一項記載のペプチド、請求項5記載のポリヌクレオチド、または請求項19記載の抗体もしくは免疫学的活性断片を含む、診断キット。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 0 7】

【表1】

対応する正常組織と比較して、がん性組織において
TOMM34の上方制御が観察された症例の割合

がん	割合
AML	4/28
CML	4/14
膀胱癌	8/11
乳癌	1/4
子宮頸癌	1/5
結腸直腸癌	12/12
食道癌	5/17
肝臓癌	6/6
骨肉腫	1/10
前立腺癌	1/26
腎癌	1/19
SCLC	2/14
NSCLC	5/20
軟組織腫瘍	10/51